

- 協議完了時
 変更時
 工事完了時

建築物の名称 宮崎県東京ビル再整備事業

建物用途 建築物の所在地	賃貸集合住宅 東京都千代田区九段南4丁目8番2号	敷地面積 建築面積 延床面積	1,438.53 m ² 852.51 m ² 8,462.85 m ² : 計算対象 3,134.83 m ²
竣工日	2026年9月15日	階数 構造、総戸数	地上 11階 地下 1階 RC造、SRC造、S造、その他(CFT) 91戸

省CO2効果

削減率

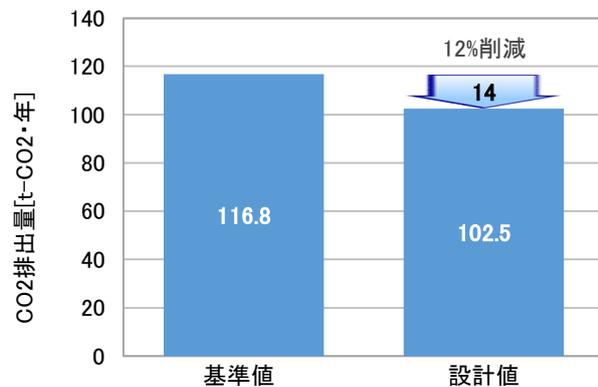
12 %

省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量	2,383.9 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	2,093.0 [GJ/年]
BEI(設計値/基準値)	0.88
共用部の計算	対象外

CO2排出量

基準値	116.8 [t-CO2・年]
設計値	102.5 [t-CO2・年]
削減量	14 [t-CO2・年]
削減率	12 %



省CO2設備手法

- 高効率エアコン
- 駐車場換気量制御
- 機械室換気量制御
- 全熱交換器
- 自然換気(自動制御)
- 高効率電動機
- LED照明
- 人感センサ
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 手元止水
- 小流量シャワー
- 水優先吐水
- HEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 二重サッシ
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房(DHC)の受入
- AEMS
- その他

浸水対策

- ハザードエリア内
- 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- 出入口等における止水板の設置
- その他

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- 被覆対策
- 水循環

- 協議完了時
 変更時
 工事完了時

建築物の名称 宮崎県東京ビル再整備事業

建築物用途 事務所, その他(駐車場)	敷地面積 1,438.53 m ²
建築物の所在地 東京都千代田区九段南4丁目8番2号	建築面積 852.51 m ²
竣工日 2026年9月15日	延床面積 8,462.85 m ² : 計算対象 4,758.08 m ²
	階数 地上 11階 地下 1階
	構造 RC造, SRC造, S造, その他(CFT)

省CO2効果

削減率

42 %

特別優良環境建築

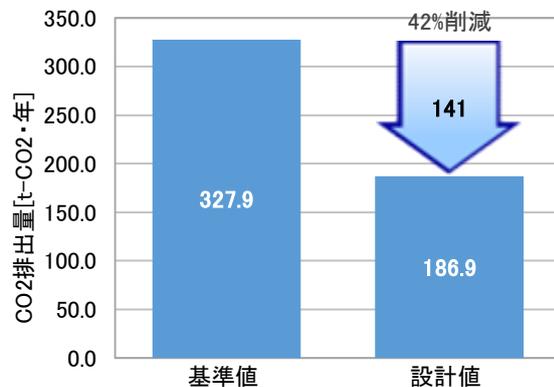


省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量	6,692.4 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	3,814.7 [GJ/年]
BEI(設計値/基準値)	0.57

CO2排出量

基準値	327.9 [t-CO2・年]
設計値	186.9 [t-CO2・年]
削減量	141 [t-CO2・年]
削減率	42 %



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 送風量制御
- LED照明
(範囲:全館)
- 人感センサ
(範囲:トイレ、給湯スペース、倉庫)
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
(範囲:外構、エントランス、廊下、EVホール)
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房(DHC)の導入
- 地域冷暖房(DHC)の受入
- 熱融通
- 電力融通
- AEMS
- その他

浸水対策

- ハザードマップエリア内
- 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- 出入口等における止水板の設置
- その他
(1階重要設備の設置高さをGL+0.5m以上とする)

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- 被覆対策
- 水循環